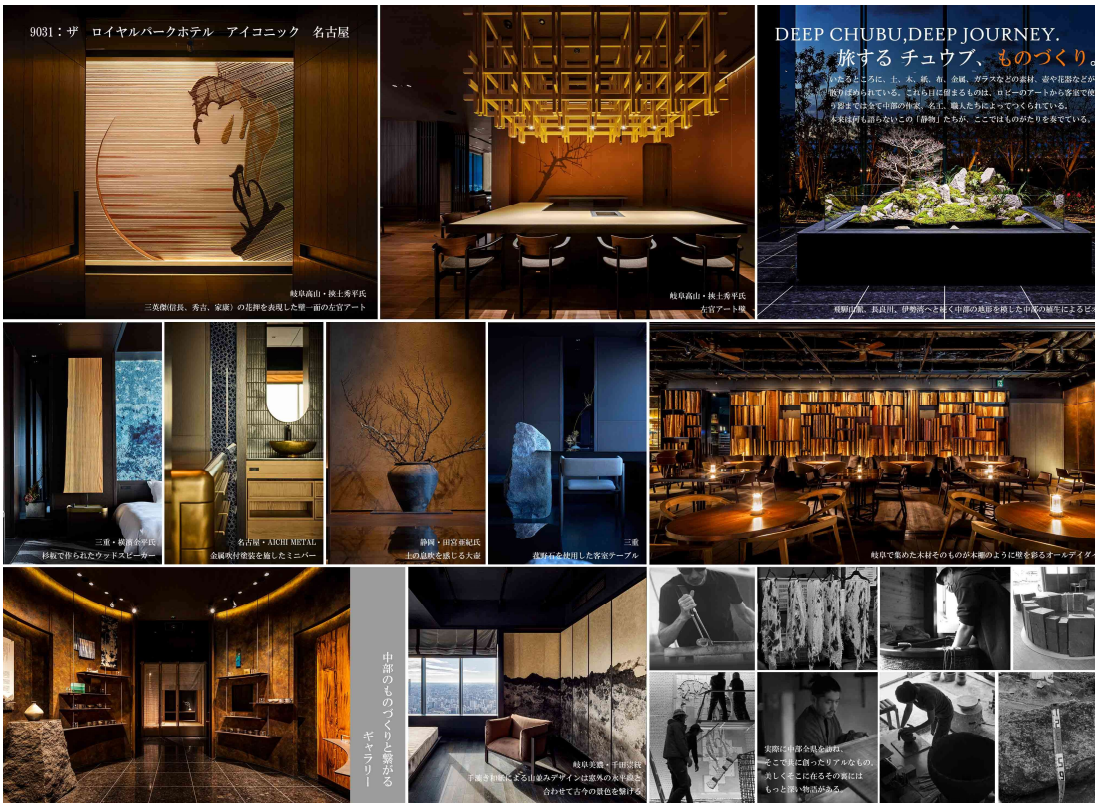
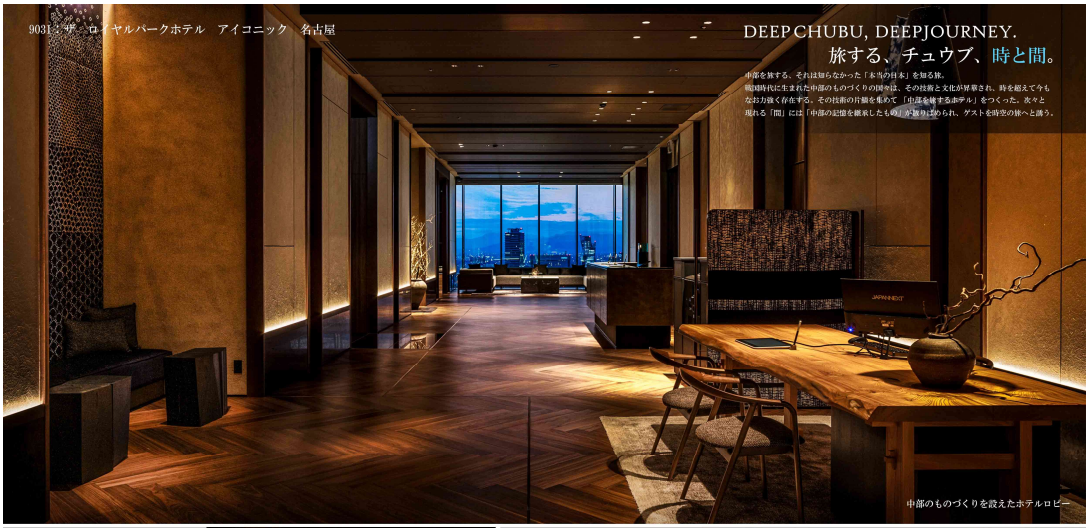
第９回インテリアプランニングアワード 2024 優秀賞受賞作品見学会　　事業交流委員会

ザ ロイヤルパークホテルアイコニック名古屋 見学会報告書

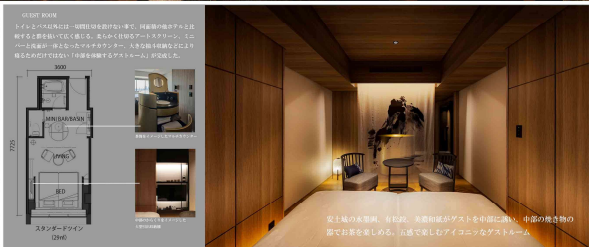
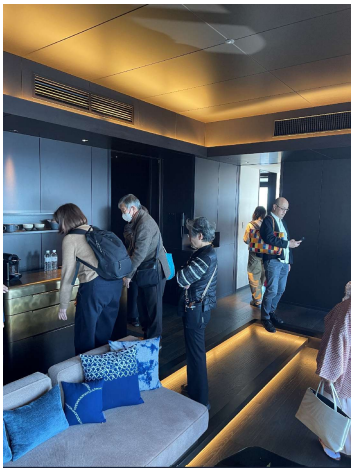
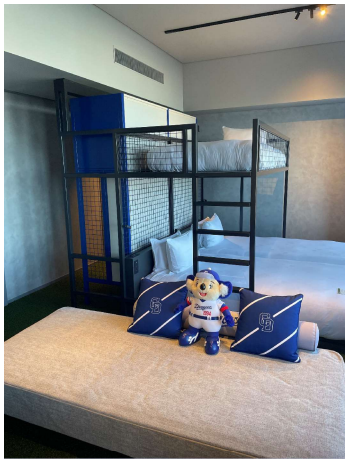
■日時：2025 年 3 月 7 日（金）　13：00～15：00
■参加者：20 名（JIPAK　10 名、CIP 10 名）合同見学会
■講師：柳澤 隆様　　株式会社竹中工務店　名古屋支店　設計部
■発注者：中部日本ビルディング株式会社
■設計・施工：竹中工務店
■インテリアデザイン：竹中工務店
■建築面積：約 5､927 ㎡　延床面積：約 14､288 ㎡
■規模：地下 5 階、地上 33 階、塔屋 1 階
■用途：物販店舗、飲食店舗、オフィス、ホテル
■ホテル客室数：246 室

ザ ロイヤルパークホテルアイコニック名古屋の 24 階ロビー階において、講師 柳澤様よりこのホテルのデザインコンセプト「旅する、チュウブ、時と間。」「旅する、チュウブ、ものづくり。」に関して解説があった。その後ロビー階及び客室中心に約 2 時間のホテル内見学を実施した。見学会後、名古屋駅西 居酒屋「楽蔵うたげ」において　関西 9 名（JIPAK）と中部 12 名（CIP）合同の交流会を開催し大いに盛り上がった。




9031.ザ　ロイヤルパークホテル　アイコニック　名古屋
DEEP CHUBU, DEEPJOURNEY.
旅する、チュウブ、時と間。
中部を旅する、それは知らなかった「本当の日本」を知る旅。
戦国時代に生まれた中部のものづくりの国々は、その技術と文化が昇華され、時を超えて今もなおお力強く存在する。その技術の片鱗を集めて「中部を纏まるホテル」をつくった。次々と現れる「間」には「中部の記憶を継承したもの」が加味されられ、ゲストを時空の旅へと誘う。
中部のものづくりを設えたホテルロビー

LOBBY
日頃のビジネス・プライベートとは一線の空間／「和の静かさ」を基調しながらメリハリを効かせ、空間の中で際立ちつつ、和紙の光に浮かび上がるアートや素材を配置し、ポイントでは自然と中部を感じる空間づくりをしている。
伝統的工芸品ギャラリーをつくりや部のものづくりを紹介している。
ENTRANCE
RECEPTION
ELEVATOR
LOBBY
三尾美術館による茶室で豊穣の抹茶を楽しめる


GUEST ROOM
トイレとベッド以外には一切間仕切を設けない事で、同系統の他ホテルとは一線すると共を狙いてはく感じる。柔らかく仕切りをアートスクリーン、ミニバーと冷蔵庫一体となったスマルテカウンター、大きな個々は様なことを得るためだけではない「中部を体験するゲストルーム」が完成した。
3600
7725
MINI BAR/BASIN
SHOWER
BED
スタンダードツイン
(29㎡)
安土城の水墨画、有松絞、美濃和紙がゲストを中部に誘い、中部の焼き物の器でお茶を楽しめる、高感で楽しむアイコニックなゲストルーム

THE ROYAL PARK
ICONIC
NAGOYA